

動物実験等の実施状況

(平成26年度)

研究所名	北海道農業研究センター
------	-------------

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計 8件		
小哺乳類			大中哺乳類			鳥類		
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数
マウス	1	0	ウシ	5	33	ニワトリ	0	0
ラット	1	0	ブタ	0	0	ウズラ	0	0
ハムスター	0	0	ヤギ	0	0	カラス	0	0
モルモット	0	0	ヒツジ	1	17			
ウサギ	0	0	イヌ	0	0			
			ネコ	0	0	爬虫類		
			サル	0	0	動物種	件数	飼養数
			イノシシ	0	0			
			タヌキ	0	0			

2. 動物実験の主な内容

・ウシの生体から採血をする実験(乳生産を低コストする技術開発のため、放牧等により粗飼料割合を従来より高めた飼料設計で搾乳牛を飼養し、乳量や乳成分に及ぼす影響を検討した。)

・ウシのナイロンバッグ法による飼料の第一胃内分解速度の測定をする実験(ルーメンフィステル装着牛を用いて、高蛋白質含量牧草サイレージ給与時の消化生理機能を第一胃内分解性に基づいて調査した。)

・ヒツジをケージに收容した全糞尿採集法による消化試験(イアコーンサイレージの品質評価基準の作成及び適正給与量の解明に資するために、イアコーンサイレージ、高品質イアコーンサイレージといった自給濃厚飼料及びそれらと組み合わせる各種飼料の栄養価をヒツジを用いた消化試験により査定した。)

・ラットの十二指腸内に薬剤(フラボノイド溶液)投与用のカテーテルを留置し胆汁を採取、採取後、放血死させ肝臓を採取する実験(農作物に豊富に含まれるフラボノイドの健康機能性を明らかにすることにより、農作物全般に対する注目を喚起し、農作物の消費拡大に貢献する。)

※帯広畜産大学で飼養しているラットを用いて実施

・マウスの生体から採血、胆のう及び肝臓を採取後放血死させる実験(農作物に豊富に含まれるフラボノイドの健康機能性を明らかにすることにより、農作物全般に対する注目を喚起し、農作物の消費拡大に貢献する。本実験では、ケルセチンあるいはアントシアニンの摂取が胆石形成に及ぼす影響を評価した。)

※帯広畜産大学で飼養しているマウスを用いて実施

備考

- 〇〇の箇所には和暦を記載すること。
- 「1. 動物実験等の実施件数等」の欄は、報告する年度における動物実験等の実施件数の総数、動物種(上記に表示のない動物種による動物実験等を実施している場合は、当該動物種名を新たに記載すること。)ごとの件数及び飼養数について記載
- 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、報告する年度において実施した主要な動物実験の目的や実験方法等の内容について簡潔に記載すること。

動物実験等に関する自己点検及び評価報告書
(平成26年度)

研究所名 北海道農業研究センター

1 所内要領

- a 規程に適合した所内要領が定められている。
- b 所内要領は定められているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

2 動物実験委員会

- a 規程に適合した動物実験委員会が設置されている。
- b 動物実験委員会は設置されているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

3 動物実験管理者

- a 規程に適合した動物実験管理者が置かれている。
- b 動物実験管理者は置かれているが、一部に改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

4 施設等の指定

- a 施設等は、動物実験委員会で審査され、規程に適合したものが適切に指定され、指定施設等においてのみ飼養管理及び動物実験が行われている。
- b 施設等の指定に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

5 施設等の維持管理

- a 施設等は適切に維持管理されている。
 b 施設等の維持管理に問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

6 動物実験計画の審査及び実施

- a 動物実験計画は、規程に従って適切に審査、実施されている。
 b 動物実験計画の審査、実施に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

7 動物実験の実施結果報告

- a 動物実験の実施結果は適切に研究所等の長へ報告され、取りまとめた実施状況は理事長へ報告されている。
 b 動物実験の実施結果の報告に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

8 実験動物の健康及び安全の保持

- a 飼養保管や輸送において、規程に定められた実験動物の健康・安全の保持の措置が適切に行われている。
 b 飼養保管や輸送において、実験動物の健康・安全の保持に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

9 生活環境の保全

- a 規程に従い、施設等及びその周辺の生活環境の保全に努めている。
 b 施設等及びその周辺の生活環境の保全に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

10 人への危害・環境保全上の問題の防止

- a 規程に従い、人への危害や環境保全上の問題が適切に防止されている。
- b 人への危害や環境保全上の問題の防止に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

11 安全管理に注意を要する動物実験(遺伝子組換え動物、感染症等に係る実験等)

- a 安全管理に注意を要する動物実験について、規程及び関連法令に適合した実施体制が確保され、安全に実験が行われている。
- b 安全管理に注意を要する動物実験について問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 安全管理に特に注意を要する動物実験は実施していない。

12 地震、火事等の緊急時の対応

- a 緊急事態に備えた措置に関する計画が定められ、緊急時の対応に問題はない。
- b 緊急事態に対する備え、対応に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

13 教育訓練

- a 規程に沿って、教育訓練が実施されている。
- b 教育訓練は実施されているが、問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 必要な教育訓練が実施されていない。

○実施の方針、予定等

- d 当該年度には、教育訓練が必要な者はいなかったため、実施せず。

備考 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
2 該当する評価結果の□に✓印を記入すること。
3 評価結果が「b」又は「c」に該当した場合は、当該評価結果の下の欄に表示している事柄について、当該欄にその内容を記載すること。